

かみねっちょ新聞

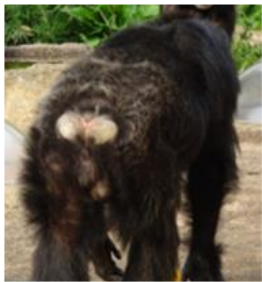
あなたの知らない

令和4年6月号

サルの仲間 尻尾のいろいろ

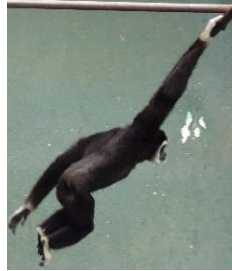
長い尻尾をイメージしやすいサルの仲間たち。その長さや形、模様、使い方などは、さまざまです。今回はかみね動物園で暮らしているサルの仲間の尻尾について紹介したいと思います。

チンパンジー(ヒト科)



私たちヒトには尻尾がありませんが、類人猿の仲間にも尻尾がありません。手足でしっかり枝を掴み移動します。

シロテテナガザル(テナガザル科)



テナガザルにも尻尾がありません。長い腕で枝から枝へ移動するのにバランスをとる尻尾は必要なかったようです。

ワオキツネザル(キツネザル科)



“ワオ”は、輪っか模様の尻尾という意味。オスは手首にある臭腺からの分泌物を尾にこすりつけて自分をアピールします。

シシオザル(オナガザル科)



シシ(獅子)は、ライオンという意味で、ライオンの尻尾に似て先が房状になっていることが名前の由来になっています。

マンドリル(オナガザル科)



10 cm以下の短い尻尾。地上をよく利用するためバランスをとる長い尻尾は必要なくなったみたいです。

ニホンザル(オナガザル科)



5 cmほどの短い尻尾。寒さ対策と地上性も高いのでバランスをとる必要がなかったのでしょうか。尻尾を立てて威嚇します。

ジェフロイクモザル(オマキザル科)



尻尾の裏側には毛がなく滑り止めになっています。細かいものを器用につかむことができるほか、自分の身体を支えたり、移動には手と尻尾を使ったり、命綱のような役割があります。

リスザル(オマキザル科)



ものを掴むことはしませんが、体の1.5倍ほどの長い尻尾でバランスをとりロープを渡っていきます。

サルたちの尻尾に注目して
見比べてみてください！

飼育員 山内

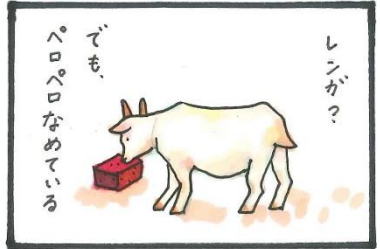
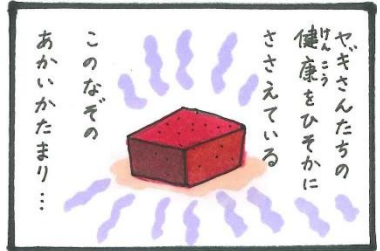
園長のひとこと

毎年冬になると、いわゆるギックリ腰を発症する。何でもない日常の一瞬の動作で起きる。例えば朝起きて床にある新聞をとろうとして、ギクッ。あ、やっちゃった、と思ってるうちにだんだん痛くなり、やがてちょっとした腰の動作が激痛へと。湿布をして放っておいてもじきに良くなるのだが、その1週間から10日ぐらいは地獄で、腰をかがめる動作、たとえば朝顔を洗ったり靴下履いたり痛くて痛くて。花粉症なのでくしゃみもイタッ。アハハハと大笑いもイテテテ。椅子に座ってその後立って歩こうとするのがまた大変。無理して歩くと「なんか変」と家人に揶揄される。

そのギックリ腰がこの冬は起きなかった。思い当たることがある。昨年の夏から近所のジムに通い始めたのだ。休みの日に軽いジョギングをするのだがその日が雨だと走る気にならない。そこで、ランニングマシンがあるジムに入会したのだ。事務屋がジムだ。最初は走るだけでいいや、と思っていたが、他にも体を鍛えるたくさんのマシンがある。興味本位で色々やっていると段々ムキムキになる自分を発見した。おう、確かに筋肉はウソをつかない。鏡に映った自分にうっとりしながら(誇張表現あり)、そうか、腰回りの筋肉も強化されたのでギックリ腰も起きないのか、と勝手に自己判断。でもちょっと後悔も。この年になって肉体美を追求する気はサラサラないが、なんとかザップのようにビフォーの写真を撮るとけばよかったかな・・・なんてね。

まあ、ジム後のビールで腹回りは変わらないのだが。

「健康のひけつは…」さく なめかわ



あつい日はとくにミネラルが必要なので、セグ、ポニー、ツマウマはよくなめています。

7月の予定

- ・3日(日) セタイベント
- ・25日(月) 26日(火) サマースクール

詳細はかみね動物園ホームページをご覧ください
または 0294(22)5586 まで



YouTube

SNSでも写真や動画、最新の情報をお知らせ中!



Twitter



Facebook

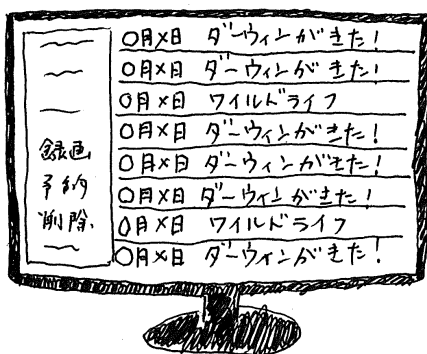


不定期連載

たぶん

飼育員あるある

ごめんなさい
私



何人ダーウィンの
待たせてるんですか?
夫

重カ物の
ドキュメンタリー番組
ためがち

昆虫ささいせ! もやまき♡

Saki